

令和2年度 基本施策評価シート（部別）

基本目標	学び合い人と文化を育むまち
基本方針	生涯を通じて学び合うまち
基本施策名	生涯学習の推進

	所属	職名	氏名
作成者	教育部 文化課	課長	山下泰永
評価者	教育部	部長	平林洋一

1 基本施策に対する基本姿勢

現状	図書館を核とした交流学習施設において、市民が生涯学習を進める上で、「情報センター」として質の高い情報を提供できるよう、図書館資料の充実や図書館司書の資質の向上に努めています。令和2年度は、コロナ禍であっても図書館サービスの低下とにならないよう様々な工夫をして、市民の皆さんが安心・安全な利用できるよう気を配りながら図書館運営をしました。
基本方針 (目指すべき方向性)	生涯学習を通じて、自ら学び挑戦する心を育み、学んだ知識や技術が地域社会に活かされる環境づくりを進めます。

2 施策指標

指標	単位	(設定時)	目標値	H30	H31	R 2	達成率	進捗状況	所管課	
生涯学習講座参加者数	人		22,674	23,000	22,339	21,138	7,313	31.8	停滞	生涯学習課
図書館利用者数	人		212,808	228,000	233,119	237,305	190,239	83.4	停滞	文化課

施策指標の進捗状況と分析	新型コロナウイルス感染症の影響で、年度の初め通常開館ができなかった時期もあり、年間貸出冊数は前年の82%余となりました。コロナ禍においても、安全・安心な環境づくりとニーズにできるだけ沿えるようサービスに努めました。
--------------	---

3 基本施策を構成する事務事業の評価

(単位：円)

No	コード	事務事業名	所管課	事業費					事務事業の状況					重点化		
				H30	H31	R 2	R 3	R 4	合計	事業区分	新/継	総合評価	方向性		正規職員数	
1	0110625	交流学習センター等管理費	文化振興担当	71,141,088	76,547,986	69,571,244				217,260,318	施設の管理運営	継続	C	事業効果を高めるための方策を検討	3.82	
2	0110790	図書館管理運営費	図書館係	117,089,382	120,879,056	122,983,257				360,951,695	定型業務	継続	A	現状のまま実施することが適当	1.4	
3	0110795	図書館資料収集事業	図書館係	44,836,994	29,259,267	27,822,671	27,891,000	27,891,000		157,700,932	政策的業務	継続	A	現状のまま実施することが適当	1.2	
4	0110800	図書館サービス事業	図書館係	4,113,831	4,972,445	3,328,390	4,421,000	4,421,000		21,256,666	政策的業務	継続	C	事業効果を高めるための方策を検討	2.4	
合計				237,181,295	231,658,754	223,705,562	32,312,000	32,312,000		757,169,611						

事務事業量とコスト(費用対効果)の分析	令和2年度末における市民一人当たりの蔵書数は、視聴覚資料を除いて、4.54冊で前年より0.06冊増加。市民一人当たりの貸出冊数はコロナ禍で減少しました。各館に図書館司書を適正に配置し、コロナ禍であっても市民の皆さんが、安心安全に図書館を利用してもらえるよう心掛けました。
重点化事務事業の考え方	
縮減・廃止事務事業の考え方	「安曇野市選書の在り方ガイドライン」に沿って、効率的で無駄のない資料収集を行います。また、コロナ禍におけるイベント等の事業内容を精査し、図書館を利用したことのない方にも来館いただけるよう、市民ニーズに合わせて企画していく必要があります。
総合評価(次年度へ向けた課題の抽出含)	コロナ禍においても図書館サービスの提供が滞ることのないよう様々な工夫をするとともに、市内5つの図書館がそれぞれの特性を生かした特色ある資料収集を図っていきます。また、図書館を利用したことのない市民へいかに来館いただくかを戦略的に考える必要があります。

令和 2年度 基本施策評価シート (部別)

基本目標	学び合い人と文化を育むまち
基本方針	文化を創り育むまち
基本施策名	芸術文化活動の推進

	所属	職名	氏名
作成者	教育部 文化課	課長	山下泰永
評価者	教育部	部長	平林洋一

1 基本施策に対する基本姿勢

現状	交流学習センターや公民館等文化施設の整備が進み、生涯学習の拠点整備が進みました。市民ニーズに沿った文化活動を、新型コロナ蔓延防止対策をとりながら利用していただいております。一方、コロナ禍に対応しながら、いかに魅力ある事業展開ができるかが求められています。 また、安曇野市誌の編さん事業の方向性が定まり、民俗編の調査が始まりました。
基本方針 (目指すべき方向性)	誰もが気軽に芸術や文化に触れることができる環境を整え、生きがいをづくりや地域づくりにつながる場を創出します。

2 施策指標

指標	単位	(設定時)	目標値	H30	H31	R 2	達成率	進捗状況	所管課
芸術・文化講座などの参加者数	人	14,844	15,000	14,609	13,556	4,026	26.8	停滞	文化課
美術館・博物館などの入場者数	人	78,096	80,000	70,892	64,822	28,628	35.8	停滞	文化課

施策指標の進捗状況と分析	新型コロナウイルスの影響で、文化施設の閉館や芸術・文化講座の中止・延期、事業縮小が相次ぎました。よって講座受講者数・施設への入館者数は減となっています。 市誌編さんの方向性が定まり、まず民俗編の調査からスタートした。また市HPに「安曇野市バーチャルミュージアム」のサイトが開設され、今後、博物館・美術館等の活動紹介の他、市誌編さんの活動過程を市民の皆さんに知っていただくとともに調査協力を依頼するツールとしても活用したいと考えています。また、『安曇野風土記Ⅳ』、ブックレット、博物館等紀要、『穂高の宝』など多くの出版物を刊行することができました。
--------------	--

3 基本施策を構成する事務事業の評価

(単位:円)

No	コード	事務事業名	所管課	事業費					事務事業の状況					重点化	
				H30	H31	R 2	R 3	R 4	合計	事業区分	新/継	総合評価	方向性		正規職員数
1	0110490	芸術教育普及事業	文化振興担当	4,189,767	3,833,290	2,564,853	5,410,000	5,410,000	21,407,910	政策的業務	継続	C	事業効果を高めるための方策を検討	1.13	○
2	0110495	美術館・博物館連携事業	文化振興担当	174,744	712,684	410,040	840,000	840,000	2,977,468	政策的業務	継続	C	事業効果を高めるための方策を検討	0.63	
3	0110500	文化芸術施設整備事業	文化振興担当	2,620,545	351,360	2,545,517			5,517,422	施設の管理運営	継続	B	事業の進め方の改善が必要	0.18	
4	0110515	豊科近代美術館管理運営事業	文化振興担当	32,830,000	37,295,000	38,746,000			108,871,000	施設の管理運営	継続	C	事業効果を高めるための方策を検討	0.28	
5	0110520	田淵行男記念館管理運営事業	文化振興担当	18,956,000	13,800,000	13,800,000			46,556,000	施設の管理運営	継続	C	事業効果を高めるための方策を検討	0.35	
6	0110525	飯沼飛行士記念館管理運営事業	文化振興担当	2,382,203	2,404,203	2,214,203			7,000,609	施設の管理運営	継続	C	事業効果を高めるための方策を検討	0.1	
7	0110530	臼井吉見文学館管理運営事業	博物館係	2,185,000	730,424	1,063,739			3,979,163	施設の管理運営	継続	A	現状のまま事業を実施することが適当	0.1	
8	0110535	穂高陶芸会館管理運営事業	文化振興担当	7,344,000	7,191,000	7,250,000			21,785,000	施設の管理運営	継続	C	事業効果を高めるための方策を検討	0.1	
9	0110540	文化団体補助事業	文化振興担当	13,729,750	15,944,150	11,448,500	18,587,000	17,807,000	77,516,400	政策的業務	継続	C	事業効果を高めるための方策を検討	0.92	
10	0110565	安曇野高橋節郎記念美術館管理運営事業	文化振興担当	15,303,677	22,286,292	22,507,403			60,097,372	施設の管理運営	継続	C	事業効果を高めるための方策を検討	0.2	
11	0110575	豊科郷土博物館等施設運営管理事業	博物館係	19,848,228	19,571,649	23,798,607			63,218,484	施設の管理運営	継続	C	事業効果を高めるための方策を検討	0.5	
12	0110580	豊科郷土博物館教育普及事業	博物館係	3,156,817	3,614,311	2,519,376	3,698,000	3,698,000	16,686,504	政策的業務	継続	A	現状のまま事業を実施することが適当	0.4	
13	0110587	新市立博物館整備事業	博物館係		195,584	350,956	100,353,000	100,353,000	201,252,540	政策的業務	継続	A	現状のまま事業を実施することが適当	0.5	
14	0110590	文化財資料センター施設運営管理事業	文化財保護係	3,575,425	3,795,441	4,335,477			11,706,343	施設の管理運営	継続	A	現状のまま事業を実施することが適当	0.5	
15	0110615	貞享義民記念館施設運営管理事業	博物館係	12,687,409	12,733,531	13,253,184			38,674,124	施設の管理運営	継続	C	事業効果を高めるための方策を検討	0.1	
16	0110620	貞享義民記念館教育普及事業	博物館係	352,365	714,391	294,618	412,000	431,000	2,204,374	政策的業務	継続	C	事業効果を高めるための方策を検討	0.2	

令和 2年度 基本施策評価シート (部別)

基本目標	学び合い人と文化を育むまち
基本方針	文化を創り育むまち
基本施策名	芸術文化活動の推進

	所属	職名	氏名
作成者	教育部 文化課	課長	山下泰永
評価者	教育部	部長	平林洋一

17	0110645	文化財保全事業	文化財保護係	8,204,518	2,237,385	1,661,492	2,698,000	2,698,000	17,499,395	義務業務	継続	A	現状のまま実施が適切	1	
18	0110650	地域史研究と文化財保存・活用	文化財保護係	2,774,863	3,393,488	254,100	1,128,000	1,128,000	8,678,451	政策的業務	継続	C	事業効果が高められるため検討	0.5	○
19	0110660	文書館施設運営管理事業	博物館係	39,741,765	14,957,266	20,928,875			75,627,906	施設の管理運営	継続	A	現状のまま実施が適切	0.7	
20	0110662	市史編纂事業	博物館係		47,600	384,416	1,000,000	1,000,000	2,432,016	政策的業務	新規	A	現状のまま実施が適切	0.1	
21	0110665	文書館教育普及事業	博物館係	2,440,284	3,627,168	2,794,221	3,855,000	3,855,000	16,571,673	政策的業務	継続	A	現状のまま実施が適切	0.4	
22	0110675	埋蔵文化財保護事業	文化財保護係	7,937,321	8,510,745	13,279,363			29,727,429	義務業務	継続	A	現状のまま実施が適切	1.5	
合計				200,434,681	177,946,962	186,404,940	137,981,000	137,220,000	839,987,583						

事務事業量とコスト(費用対効果)の分析	美術館・博物館9館のうち、5館については指定管理業務としています。新市立博物館構想では、9館を博物館グループと美術館グループに集約し、基幹博物館、基幹美術館がそれぞれのグループを統括していく方向としています。新市立博物館が具体化するまでの間は、現在の施設管理体制を基本としつつも、実態に即した施設の運営・管理を行っていきます。また、外部の文化振興関連の助成金を積極的に活用し、文化事業の促進を図っており、4件約388万円の助成額を受けました。
重点化事務事業の考え方	平成30年度から10ヶ年を目標年度とする第2次文化振興計画では、「学ぶ心が育ち、文化のかおるまちをつくります」を基本理念とし、ハードからソフトへと基軸を移した方向性が鮮明となっています。地域史研究と文化財保存・活用では、安曇平のお船祭りの国指定を目指します。また、コロナ禍で事業が制限される中、リモート等工夫をして事業展開をはかります。博物館・美術館の学芸員の人材育成を進め、市民の関心度が上がるようコンパクト展示等出前講座の充実を図ります。またバーチャルミュージアムのサイト活用して、博物館・美術館の企画展等の紹介の他、市誌編さんの活動内容が市民も可視化でき、市民も市誌編さんに協力できる仕組みづくりを進めます。
縮減・廃止事務事業の考え方	新市立博物館構想が策定され5年が経過し、財政状況が厳しい状況下で、当初描いていた博物館の在り方についても、もう一度見直す時期にきています。既存の空き施設の活用も視野に、統廃合に向けた検討を行います。
総合評価(次年度へ向けた課題の抽出)	コロナ禍ということで、施策指標である美術館・博物館の入場者数は減となりました。一方、「バーチャルミュージアム」のサイトを新たに開設し、美術館・博物館の企画展の紹介の他、市誌編さん事業について市民の皆さんにも知っていただき、調査協力を仰ぐためのツールとしても活用していきます。また、新市立博物館構想に基づくコンパクト展示の開催、安曇野風土記IV、ブックレット、博物館等紀要、穂高の宝の刊行など、多様な幅広い活動を展開しました。なお、新市立博物館構想ができ5年が経過し、財政状況が厳しい状況下で、当初描いていた博物館のあり方についてももう一度、検討する時期にきています。